

# 物理的アクセスと経済的アクセスの二刀流で食料支援

成田 賢一 / NPO法人ジャパンハーベスト (加賀郡吉備中央町上野2440番地52)  
TEL : 0866-56-7187 / URL : <https://japanharvest.or.jp/index.php>



« 岡山の魅力発信 »

HPはこちら▶



令和7年12月24日現在



## 経営概要

### 基本理念

食を届けることは、つながりを届けること

### 主な業務

【物理的アクセス】移動スーパー 【経済的アクセス】フードバンク活動（フードレスキュー）

### 代表者

成田 賢一 (NPO法人ジャパンハーベスト 創設者/理事長)

### 取組のきっかけ

吉備中央町では過疎化が進み、買物困難者が増加している状況に対し、「食を届けることは、つながりを届けること」が必要だと考え、2013年に移動スーパーを開業。また、移動スーパーを行う中で、農家から寄付された農産物を経済的に困難な家庭に提供するため、2018年にフードバンク団体を設立。

## 取組内容

### 【物理的アクセス】 移動スーパー

移動スーパーは、販売時の対話を重視することで、地域の見守り機能を果たしている。見守りの中で、利用者の困りごとに可能な限り応えることが信頼関係の構築につながっており、利用者の日常の変化について行政と共有するなど、地域の安心にもつながっている。

### 【経済的アクセス】 フードレスキュー

・フードバンク活動のメンバーは、現在30名（岡山県19名、広島県10名、香川県1名）で、それぞれが助け合いながら、活動の輪を広げている。  
・倉庫を持たずに支援を行うフードレスキューでは、一般的なフードバンクが扱いにくい短期賞味期限の冷蔵品やパンなどを、生活困窮世帯や子どもたちへ支援している。

### 活動の成果

・食と農をつなぐアワード2025 / 農林水産省  
食品アクセスの確保部門 消費・安全局長賞  
[https://nippon-food-shift.maff.go.jp/assets/pdf/aw\\_connect\\_2-3.pdf](https://nippon-food-shift.maff.go.jp/assets/pdf/aw_connect_2-3.pdf)

## 今後の展望

海外の団体とも連携し、新しい考え方である「フードレスキュー」を発信して認知度を上げ、国内の取組を増やしていきたい。



移動スーパーを楽しみにする利用者



食料支援の様子



受賞された成田賢一さん（右）